

道路交通部

町連道路交通部 部長 大志田 洋一

◎ 町連道路交通部十年の歩み

町連道路交通部として平成23年度以降の主な活動である「交通安全などの啓発活動への参加協力」「スクールゾーンの安全対策」「生活道路の環境整備に関する行政への要望」など継続して取り組んでまいりました。

いくつかの取り組みについて紹介します。

① 路上駐車防止の啓発活動

白石区交通安全運動推進委員会の支援による「違法・迷惑駐車等防止対策」として白石警察署、白石区土木部、白石区市民部(地域安全担当)、地域が一体となって危険性、迷惑性の高い地区を対象として、放置車両、路上駐車の一掃を図る目的で合同夜間パトロールを実施してきました。

50周年(平成22年度)以前には、公園周辺や交通量の少ない道路の路肩などに放置車両、違法・迷惑駐車が多く見受けられました。平成23年以降から徐々に違法駐車も少なくなり、27年頃の夜間パトロールではほとんど見られなくなりました。これには道路環境(生活道路網の整備)、駐車場の確保、取り締りの協力などいろいろな要因が考えられますが、特に個々のモラル意識の高まりがあったのではないかと思っております。28年からは違法迷惑駐車防止対策として、ポスター掲示、チラシの回覧などによる啓発活動への取り組みに替えております。

② 交通安全に関する啓発活動への参加協力

白石区交通安全運動推進委員会事業計画に基づき4月から11月まで年8回「早朝街頭啓発」を実施しており、また、初夏と秋には「交通安全決起大会・大型街頭啓発」に参加しております。

③ 交通安全ストップマーク点検・貼替

東札幌まちづくり協議会事業の一環として「歩行者用ストップマーク」の貼付、点検、貼替作業がありますが、23年度より各町内道路交通部が中心となって、各町内会それぞれの区域内の危険個所に対応し貼替作業の支援を行っております。また、日頃から東札幌地区における交通安全についての意識を高め、子供たちが悲惨な交通事故に遭わないことを願い、東札幌小学校からの要望を受けて、児童によるスクールゾーン交差点へのストップマーク貼付作業を行う体験学習活動にも支援・協力しております。

④ 生活道路の環境整備に関する行政への要望

毎年5月、各町内会から道路(街路樹及び公園を含む)に関する補修要望書を白石区土木部へ提出しております。

⑤ 冬期間の冬みち対策の実施

課題の多い冬期間について、毎年、関係行政機関の支援をいただき、各町内会あげて「冬みち対策」に取り組んでおります。つるつる路面への砂まき協力、また、迷惑駐車防止や道路への雪だし防止対策のポスター掲示及びチラシの回覧などを行い、一人ひとりがマナーを守っていただくことで、歩行者及び除排雪作業の支障にならないよう安全な道路確保のため啓発活動を実施しております。



交通死亡事故2000日表彰



町連60周年を迎え、東札幌地区における安全で安心な住みよいまちづくりをめざし、引き続き、各種団体との連携を計りながら交通安全など啓発活動を進めていきたいと思っております。



大型街頭啓発



大型街頭啓発



大型街頭啓発



大型街頭啓発



大型街頭啓発



大型街頭啓発